



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和2年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



わかばやし しづこ  
**若林 志津子** 議員  
(日本共産党議員団)

## コロナ禍の経験から少人数学級の実現を

**問** 少人数学級を実現するには法律の改正、自治体独自の対策、人材の確保、教室の確保それぞれに具体的な計画を持つべき。

**教育長** 感染症対策と多様化する子どもたちに最適な教育環境を整えることは重要。具体的に計画を持つことは大切だが、教員の確保、教員採用試験受験者の減少、施設面の問題等課題が多い。今後も県・国の動向を注視し、教育環境充実・改善に引き続き県・国へ要望していく。

**問** 教員免許制度の在り方で教員が集まらないことについての見解は。

**教育長** もし免許制度を変えていただければ、変えてもらった方がいいのかなというのが結論。教員は研修が多く、その中でもう一度、10年ごとに免許を取るのは負担なのかなと思う。



もちつき のりお  
**望月 則男** 議員  
(富岳会)

## 不登校及び支援が必要な児童生徒について

**問** 出席日数減少のデメリットはあるのか。

**教育長** 日数が原因で進学できなかったという報告はない。

**問** 小学校時、普通学級で発達に疑問を感じたなどの場合、進学時に支援学級に移れるか。

**教育長** それについては可能。

**問** 学校に通わないと出席日数とされない中、自宅で遠隔授業が受けられるようになるのか。

**教育長** 実際の授業をライブ配信のような形で見るとはこれから可能となる。

## 富士宮市の人口ビジョンについて

**問** 2060年芝川地区の人口推計はいかがか。

**部長** 2015年の9171人が、2060年には3977人と予測。

**問** Uターン者は男性より女性の方が少ない現

## コロナ禍の観光の在り方

**問** コロナ禍で人の移動が制限され、市外からの観光客を呼び込む観光から、市民が地元の良さを再発見する観光への認識は。

**部長** 今後の状況によっては、県外誘客から市民向けに展開する対応策に切り変えた観光振興に取り組んでいく必要もある。

## 今後の公共施設利用の対応と新たな支援金の提案

**問** 公共施設利用時の住所、氏名、電話番号の記入から氏名・電話番号だけの記入にできないか。子どもと接する職種へ市独自支援金給付を。

**部長** この名簿は施設利用者の中で感染者が発生した際、保健所が感染源の推定、濃厚接触者の把握をするために必要な資料となる。住所を省略することはできない。

**部長** 保育等の従事者が国の慰労金対象に含まれなかったことを、全国保育士会等が提言・要望をしている。今後の感染状況を踏まえ、国の動向等を注視し実施の可否について研究する。

状をどう捉え、どう対応していくのか。

**部長** 当市は女性が働きたいと思える職種が乏しいことが主な要因。人口減少に直結するため、鍵となると捉えている。

**意見** 市街化区域で働いて市街化調整区域で生活をすれば良いとの答弁は、コンパクトシティである。市長は常々各地域が文化を尊重し、良さを生かすべきと述べているが、推計した結果は、コンパクトシティに向いてしまっている。

**問** 市街化調整区域にある事務所や店舗は改装すれば使えるということでは宝になる。物件を管理、発掘する作業は市でやるのか。

**部長** 店舗や工場はまだこれからのこと。それを宝とするなら、把握することのメリットがあるので、地域政策部門と研究してみたいと思う。

**問** 都市計画法は、知事、市長が代われば変わることなのか。どうすれば変わるのか。

**副市長** 国や県との協議等が必要だが、基礎自治体が考えて、誰にとっても良いという事になれば、緩和されていくと思う。